



## 自然の一生図鑑

林良博

私たちの周りにあるライフサイクルを物語のように読み解けば地球環境がいかにバランスが取れた仕組みかわかる！生命の輪を探索しながら、すべてがなんと複雑にリンクされているかを発見できる名著です。  
(あぶた読書の家所蔵)

# 読書の家から

あぶた読書の家 (☎ 76-2100)

【時間】 10時～16時20分 【休館日】 木曜日、祝日

みずうみ読書の家 (☎ 76-2100 (あぶた読書の家))

【時間】 9時～17時 【休館日】 木曜日、祝日

洞爺総合センター図書室 (☎ 82-5111)

【時間】 9時～16時30分 【休館日】 なし

## 新刊案内

### ■あぶた読書の家

〈一般〉▽美しい日本へ島の旅 (K&Bパブリッシャー)

ズ編集部)▽残照の頂(湊かなえ)▽月夜の森の梟(小池真梨子)▽レインメーカー(真山仁)▽御坊日々(畠中恵)

▽幻の旗の下に(堂場瞬一)▽フエイクフィクション(菅田哲也)▽黙約のメス(本城雅人)▽星を掬う(町田そのこ)▽死にふさわしい罪(藤本ひとみ)▽ミチクサ先生上・下(伊集院静)▽中野のお父さんの快刀乱麻(北村薫)

▽海をあげる(上間陽子)▽転がる検事に苔むさず(直島翔)

〈児童書〉▽季節の草花あそび 冬(相澤悦子)▽調べてわかる！日本の川①一級河川(佐久間博)

▽ノラネコぐんだん ラーメンやさん(工藤ノリコ)▽おちばのほん(いわさゆうこ)

▽おすしのさかな(川澄健)▽チョコレートがおいしいわけ(はんだのどか)▽じゅう

にしろこいくの？(すとうあさえ著・おくはらゆめ絵)▽4つごのまじよのおかいもの(かわいみな)

■総合センター図書室

〈一般〉▽琥珀の夏(辻村深月)▽老いの福袋(樋口恵子)▽満願(米澤穂信)▽タ

イタン(野崎まど)▽羊は安らかに草を食み(宇佐美まこと)

〈児童書〉▽キャプテンマークと銭湯と(佐藤いつ子著・佐藤真紀子絵)▽ぼく、おかあさんのこと…(酒井駒子)

▽たまごのはなし(しおたにまみこ)▽まーだだよ(間部香代著・ひろかわさえこ絵)

絵本の玉手箱 3月のおはなし会

■日時 ①3月14日(月)、28日(月)10時～11時、3月17日(木)14時～15時半②3月18日(金)14時～15時半

■場所 ①あぶた母と子の館②あぶた読書の家

■問合せ 佐藤 (☎ 76-2487)

※マスク着用の参加をお願いします。人数制限を行うこともありますのでご了承ください。

## 地域おこし協力隊



通信

vol.47

今月の  
リポーター  
室田崇行さん



## 洞爺湖漁業協同組合で活動している地域おこし協力隊の室田です。最近では、秋に採卵したサクラマス

の稚魚がふ化したので餌をあげ成長を見守っています。サクラマスとヒメマスは春まで育てて放流します。そして、漁師さんに冬から始まったワカサギ漁へ連れて行ってもらい、網の入れ方や修理について教えてもらっています。11月に漁獲されたワカサギはまだ卵を持っていませんが、年明けごろから漁獲されるワカサギは春の産卵に向け卵を持ち始めます。卵持ちのワカサギはとても美味しく、この時期ならではの味わいです。

3月になると少しずつ暖かくなってきて洞爺湖に住んでいる生き物たちの動き

も活発になり、サクラマスやヒメマスが釣れるチャンスも増えてくると思います。3月31日まで遊漁ができますので、釣りをする人はぜひ挑戦してみてください。

協力隊の活動も1年が経過しようとしています。この1年間、漁協で活動し、湖を中心とした自然のリズムに合わせた生活をしていると、春夏秋冬どの季節も洞爺湖は表情豊かだと感じました。その季節ごとの洞爺湖の魅力をこれからの活動で伝えていければと思っています。

新型コロナウイルスの影響で様々なイベントなどが中止になってしまっていますが、今年こそは収束し、活気あふれる洞爺湖町が戻ってきますように。